

M3T-CC32R V.4.20 Release 1 日本語版・英語版 バージョンアップのお知らせ

M32Rファミリ用クロスツールキットM3T-CC32RをV.4.10 Release 1 からV.4.20 Release 1にバージョンアップしました。

1. バージョンアップ内容

1.1 新機能および仕様変更

(1) 単精度数学関数ライブラリの追加

数学関数を単精度で演算処理できる単精度数学関数ライブラリ（ヘッダファイル mathf.h）を追加しました。上記ライブラリを使用することで、C言語標準ライブラリ（ヘッダファイルmath.h）より実行性能が向上します。

また、M32R-FPUコアを使用するM3218xグループのFPU命令を用いる関数も用意しました。単精度数学関数ライブラリに追加して使用することで、さらに高速に動作します。

(2) High-performance Embedded Workshopをバンドル(PC版のみ)

M3T-CC32Rに対応した統合開発環境High-performance Embedded Workshopをバンドルしました。High-performance Embedded Workshopを使用してプロジェクトの作成と管理、ビルドができます。

※ 従来の統合開発環境TMも引き続きバンドルしています。

(3) デバッグ情報の常時有効化とstrip32Rコマンドの追加

Cコンパイラcc32R、アセンブラas32R、リンカlnk23Rにおいて、常にデバッグ情報が有効になるように変更しました。これにより-gオプションを指定する必要がなくなりました。

なお、デバッグ情報が常時有効なためにオブジェクトモジュールファイルおよびロードモジュールファイルのサイズが大きくなります。デバッグ情報を除去するstrip32Rコマンドを用意しましたので、これらのファイルからデバッグ情報を除去したい場合は、このコマンドを使用してください。

(4) -CS オプションの動作変更

コンパイル時、-CSオプションの指定だけでCソース行を含むアセンブリソースを生成で

きるようにしました（cmergeユーティリティ不要）。

※ このオプションの追加により従来提供していましたがcmergeユーティリティの提供を終了します。

- (5) 静的変数を宣言順に出力
従来は不定だった静的変数のメモリ配置順序を、宣言順にメモリに配置するようにしました。
- (6) マップファイルの出力項目を拡張
マップジェネレータmap32Rが生成するマップファイルの出力項目に、ソースファイル名とデバッグシンボル名（関数名と、整数およびポインタ型のグローバル変数名のみ）を追加しました。
- (7) リンカlnk32Rのエラー処理の変更
 - セクション指定時のエラーをワーニング化しました
 - リロケーションサイズ・オーバーフロー時に詳細なエラー情報を表示するようにしました
 - エラーおよびワーニングメッセージを、最初の20個しか表示しないようにしました（この個数はオプションで変更可能です）

1.2 改修内容

以下の7つの問題点を解消しました。

- (1) 先頭に4バイトのメンバを持つ構造体をコピーするプログラムに関する注意事項
詳細は2003年8月16日発行のRENESAS TOOL NEWS "M3T-CC32R ご使用上のお願い"を参照してください。
- (2) 415個以上のcaseラベルを記述しているswitch文をコンパイルする場合の注意事項
詳細は2003年7月16日発行のRENESAS TOOL NEWS "M3T-CC32R ご使用上のお願い"を参照してください。
- (3) 変数のアドレスを、その変数とは異なる型へのポインタに変換してそれを間接演算する場合の注意事項
詳細は2003年7月1日発行のRENESAS TOOL NEWS "M3T-CC32R ご使用上のお願い"を参照してください。
- (4) 標準ライブラリprintf系関数の%f変換で表示させる場合の注意事項
詳細は2003年6月1日発行のRENESAS TOOL NEWS "M3T-CC32R ご使用上のお願い"を参照してください。
- (5) デバッガでのアセンブリ言語インクルードファイル表示に関する注意事項
- (6) ゼロ除算になる演算式の最適化に関する注意事項
上記(5)、(6)の詳細は2003年3月16日発行のMAEC TOOL NEWS "M3T-CC32R ご使用上のお願い"を参照してください。
- (7) volatile修飾された領域を複数回参照する場合の注意事項
詳細は2002年12月1日発行のMAEC TOOL NEWS "M3T-CC32R V.4.00 Release 1 ご使用上のお願い"を参照してください。

2. バージョンアップと新規購入方法

2.1 オンラインバージョンアップ(無償)

M3T-CC32Rのバージョンにより、バージョンアップ方法が異なります。

(1) M3T-CC32R V.1.00 Release 4以上をご使用の場合 (既にライセンスIDをお持ちの場合)

日本語版はここからダウンロードしてください。

英語版はここからダウンロードしてください。

(2) M3T-CC32R V.1.00 Release 1～V.1.00 Release 3をご使用の場合

「M3T-CC32RライセンスID申し込み用紙」に必要事項を明記の上、E-mailまたはFAXで以下まで送付してください。

折返しライセンスID証書を発行いたします。このライセンスIDを使用して弊社ホームページ(上記(1)参照)からダウンロードしてください。

[注意事項]

※ ライセンスIDをお申込みいただけるのは、ユーザ登録されているお客様に限ります。

※ 発行したライセンスID証書は、以降のバージョンアップおよびサポートに必要なになりますので大切に保存してください。

※ V.1.00 Release 4から、IBJ版とIBE版は廃止されております。また、V.3.00 Release 1から、SPARC版は廃止されております。

バージョンアップのときにはIBJ版の方はW95J版を、IBE版の方はW95E版を、SPARC版の方はSolaris版をそれぞれご指定ください。

[申し込み先]

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-6 アクロス新大阪ビル

株式会社ルネサス ソリューションズ

業務部 生産管理課 M3T-CC32RライセンスID発行係

E-mail : shipment_tool@renesas.com

FAX : 06-6398-6193

2.2 新規購入またはCD-ROMによるバージョンアップ(有償)

CD-ROMによるバージョンアップも受け付けております。

ご注文の際には、以下の情報を最寄りのルネサス販売または特約店までご連絡ください。

[新規ご購入の場合]

製品名 : M3T-CC32R

バージョン番号 : V.4.20

リリース番号 : Release 1

言語 : 日本語版

(いずれか選択) 英語版

製品の使用環境 : Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows
(いずれか選択) 95、Windows 2000、Windows NT 4.0

Solaris ※日本語版のみ

HP-UX ※日本語版のみ

[CD-ROMによるバージョンアップの場合]

上記情報に加えて、ご使用中の製品のライセンスID、またはシリアル番号をご連絡ください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。